

防犯ボランティアリーダー養成講座 (平成29年度)

防犯ボランティア活動の更なる活性化を図るため、防犯ボランティアの中心となり、防犯について自ら企画・立案して行動できるリーダーの養成を目的として「防犯ボランティアリーダー養成講座」を刈谷市で開催しています。

講座では、県内に居住する受講生が、防犯対策に関する知識を習得しつつ、防犯ボランティア活動の運営手法等を学ぶため、有識者や警察官による講義を受けています。

全5回の講座が予定され、8月25日の開講式に引き続き、9月25日に2回目の講座を実施しました。

2回目の講座

講師：皇學館大学 准教授 板井正斉 氏

内容：「防犯ボランティアのジレンマを考えあうワーク」

～継続できる自主防犯活動のヒント～

- 防犯ボランティア活動の活性化のキーワードは「人材」「資金」「情報」で、「人材」が一番重要
- 男性による活動がほとんどであることから、女性による活動を増やす。
現メンバーの奥さんを仲間にする事で、「夫婦で仲良くボランティアができる街」のアピールにもなる。
- 地域の他の組織・団体との連携を図って、縦割りではなく横の連携を強める。



受講生は、講師からの二者択一の質問にYESまたはNOのカードで答えながら、活発な意見交換を行いました。

- 地元企業・会社はボランティア団体との連携を希望
- 自治体の助成事業等を活用するためには、「何をするためにどれだけの資金が必要か」の計画性が求められる。
- 情報をタイムリーに発信することで、ボランティア活動がオープンになり合意形成がスムーズになる。

当日は、刈谷警察署生活安全課が「県内の犯罪情勢」について、警察本部生活安全総務課特殊詐欺対策係が「特殊詐欺の情勢と対策」についての講義も行いました。